

ちんこきょうだいの

いわての

とってまき!

魅力わんこ盛りのいわてから、いいもの、面白いものをよりすぐり。毎回わんこきょうだいがナビゲートします。

今月のテーマ

暮らしを彩る竹細工

冬の手仕事が生んだ竹細工

良質なすず竹が自生する一戸町の鳥越地区は、古くから竹細工の名産地。農家の冬の手仕事として、籠やざる、弁当箱など、暮らしの道具をたくさん生み出してきたんだよ。



編み目の美しさは技術の証

特徴的なのは、織細できれいな編み目。特に内側と外側の両方に表皮が出る「合わせ編み」は、高度な技が必要なんだって。しなやかで壊れにくく、使い込むほどに独特の風合いが出るんだ。



時代に合わせて使い方が変化

職人さんが一つひとつ手作りする竹細工は、工芸品や自然素材が好きな方に大人気。今の暮らしに合わせて、インテリアやファッションに取り入れて楽しむ人が増えているんだって。

美しい編み目に
評価が高まる、
「ただちんの竹細工。」



©わんこきょうだい



実用的で
丈夫なざる

モダンな
手提げかご

材料となるすず竹の収穫期は、霜が降りる11月ごろ。ざるには少し固めのもの、手提げかごには柔らかくて色がきれいなものと、つくり手のこだわりや竹細工の種類によって使い分けられています。

昨年では中学生選抜将棋選手権大会、今年は高校将棋竜王戦を制し、2年連続の快挙を成し遂げた橋本力さん。5歳の時から将棋を始めた橋本さんですが、将棋一辺倒ではなくサッカーにも熱中する少年でした。



今月の表紙 橋本力(りき)さん

千葉県出身。岩手高校1年。2017年第38回全国中学生選抜将棋選手権大会と2018年第31回全国高校将棋竜王戦で優勝。

道を選びました。「右手に来て良かったと言えるように、必ず結果を出してやる!そう心に決め、毎日6、7時間は練習しました」。橋本さんと同様に県外から強豪が集まる部の練習は、ハイレベル。互いにしのぎを削りながらも、基本にあるのは「将棋を楽しむこと」。練習内容も生徒たちが決め、学年を超えてみんな仲がいいのだから。寮生活を送る寂しさも、「仲間の存在に支えられた」と振り返ります。

竜王戦王者の座をつかんだ今、橋本さんが狙うのは、高校将棋の全タイトル制覇。残す高校将棋新人大会と高文祭の戦いに、得意の早指しで挑みます。「早めの局面で仕掛け、最後まで油断しないように終盤力を鍛えたい」。その先に見据えるのはプロの道です。